

2010年



ふそう

発行: 扶桑町議会
編集: 議会だより編集委員会
〒480-0102
愛知県丹羽郡扶桑町
大字高雄字大道330
TEL: 0587-93-1111
FAX: 0587-92-1381
E-mail: gikai_sc@town.fuso.lg.jp
発行日: 平成22年8月1日

議会だより

第201号



社会を明るくする運動（高雄西保育園児）

5月臨時会

6月定例会

7月臨時会

- 議会構成を一部改選…………… 2P
- 6月定例会の概要…………… 3P
- 委員会の審議から…………… 4P
- 一般質問 …………… 5P～11P
- 平成22年度水防・防災訓練…………… 12P



議 長
大 藪 三 郎



副 議 長
小 林 明

平成22年5月20日に開催された臨時会において、正副議長を始め委員会正副委員長などを改選しました。新しい議会構成は、次のとおりです。

総務文教常任委員会(8人)

◎間瀬 英之 高木 武義
○高木 義道 近藤 泰樹
片野 春男 新井 三郎
大藪 三郎 千田 成年



監 査 委 員
近 藤 泰 樹

福祉建設常任委員会(8人)

◎伊藤伊佐夫 児玉 孝明
○矢嶋 恵美 千田 勝隆
小林 明 間宮 進示
浅井 捷史 千田 鉄朗



総 務 文 教
常 任 委 員 長
間 瀬 英 之



福 祉 建 設
常 任 委 員 長
伊 藤 伊 佐 夫

議会運営委員会(7人)

◎浅井 捷史 千田 成年
○新井 三郎 高木 義道
片野 春男 矢嶋 恵美
伊藤伊佐夫



議 会 運 営
委 員 長
浅 井 捷 史

◎委員長 ○副委員長

新しい議会構成になりました

地域経済活性化対策として8事業 2,330万円などを追加

6月定例会の概要

平成22年6月定例会は、1日から17日まで開催されました。
今回の定例会では、一般会計補正予算・特別会計補正予算を始め、
条例の改正や陳情など16案件の審議を行いました。

一般会計補正予算

一般会計補正予算は、
人件費の精査及び地域経
済活性化対策に伴う事業
追加（8事業2330万
円）などにより、歳入歳
出それぞれ261万円を
追加し、総額8億898
6万円となっています。
主な内容は、次のとおり
です。

なお、採決の結果、賛
成全員で可決しました。

主な事業

（万円未満切り捨て）

地域経済活性化対策

保育所庁用器具費

316万円

各保育園でビデオカメ
ラ・洗濯機を購入します。

側溝等清掃工事費

60万円

玄関前駐車場の植え込
みを撤去します。

中央公民館通路改修工 事費

15万円

フェンス金網の張り替
え及び支柱・胴縁の塗り
替えを行います。

扶桑東小学校整備費

78万円

防球ネットを設置し
フェンスの取り替えを行
います。

山名小学校整備費

351万円

グランド内の側溝に
溜まった土を取り除きま
す。

町内10か所で雨水浸透
桝の清掃工事を行います。

サイクリングロード整備 工事費

1009万円

緑地公園のサイクリン
グロード整備を行います。

高雄小学校グラウンド側 溝浚渫委託料

31万円

グラウンド内の側溝に
溜まった土を取り除きま
す。



修繕をする文化会館前広場

文化会館駐車場舗装等修 善工事費

464万円

会館裏駐車場の舗装と
会館前広場のインター
ロッキングを改修します。

寄附金事業（ふるさと寄 附金）

ベンチ設置工事費

113万円

寄附金のうち110万
円で柏森駅前公園にベン
チを設置します。

健康診査40人分追加しま

42万円

寄附金のうち10万円を
健康診査40人分追加しま

図書購入費 20万円

寄附金で4小学校各3
万円、2中学校各4万円
分の図書を追加購入しま
す。

寄附金事業（子ども手 当寄附金）

一時保育事業庁用器具費

16万円

一時保育を行っている
高雄保育園と斎藤保育園
で緊急避難用の乳母車を
各1台購入します。

柏森小学校整備費

1007万円

柏森小学校の屋上防水
改修工事を行います。

その他

自治総合センターコミュ ニティ助成事業費

500万円

宝くじ助成を受けて、
羽根・北新田地区に対し、
コミュニティ備品等の購
入に対し補助するもので
す。



防水改修工事をする柏森小学校屋上

委員会の審議から

総務文教常任委員会

問 総合流域防災事業補助金がなくなり、交付金に変わったことについて今後の影響は。

答 社会基盤整備総合交付金に変わり、ハザードマップ作成は対象から外されたが、財源更正をし、町単独事業として進める。

問 自治総合センターコミュニティ助成金について、その内容は。また購入した物への表示はどのようなになっているか。

答 1地区250万円ずつ、コミュニティ活動で使用する、テレビ、ソフトボールや祭りの道具などの備品等を購入予定で、購入した備品すべてに「宝くじ助成」であることを表示しなければなら

い。

問 地域公民館建築費補助金について、その内容は。

答 スロープ改修、外壁

改修、増築、会議室の改装等が申請されている。

問 あいち・出会いと体験の道場推進事業委託金の見直しによる3割削減の影響は。

答 予算内で行うように指示し、予定していた講師謝金、印刷製本費や消耗品についても精査し対応する。

問 高雄小学校グラウンド側溝浚渫委託料について北中も側溝が埋まっている。高雄小学校以外の学校の状態はどうか。

答 学校ごとに施設管理状況を調整し、優先度を

決定、教育委員の施設巡回を行いながら、査定をし、進めている。

問 高雄小学校グラウンド側溝浚渫委託料について地元の追加経済対策事業としているがその発注先は。

答 未定ではあるが、地元業者へお願いしていく。

問 図書購入費についてその内容は。

答 ふるさと寄附金で行われる事業で、校長会に諮り、使途として図書購入をすることとした。内容は各学校で検討中。

福祉建設常任委員会

問 小規模事業者登録制度の発注実績、発注方法は。

答 福祉児童課3件、土木課3件、都市整備課1件。発注方法は、130万円以下のため見積徴収をして発注。

問 側溝浚渫工事で樹の大きさは。

答 浸透枾の実容量は3・7立方メートル。

問 サイクリングロードの工事内容は。

答 沈下している部分を盛土、整正し舗装修繕を行う。

問 江南市との接続は。

答 23年3月の予定。



舗装修繕をするサイクリングロード

陳情の結果

■私立高校生に対する授業料助成の堅持・拡充を求める陳情書

〔賛成4人反対10人で不採択〕

■働く者の権利を守り、住民の安全・安心を確保し、憲法擁護・核兵器のない世界を求める陳情書

〔賛成2人反対12人で不採択〕

■選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する陳情

〔賛成10人反対4人で採択〕

■子ども手当の廃止をもとめる陳情

〔賛成10人反対4人で採択〕

5月臨時会を開催

5月20日（木）に臨時会を開催し、人事案件（2頁参照）のほか、一般会計補正予算など4議案を賛成全員で可決しました。

7月臨時会を開催

7月2日（金）に臨時会を開催し、愛知県議会丹羽郡選出議員の補欠選挙費に伴う一般会計補正予算を賛成全員で可決しました。

あなたも議会を傍聴してみませんか
定例会は来月9月です

詳しくは議会事務局まで
TEL 93-1111 内線322



伊藤伊佐夫 議員

学校給食費無償化の検討を

答 賄材料費は保護者の負担

問 日本国憲法第26条、教育基本法第4条2項、

国際人権規約第13条からすれば、教育にかかる費用は全て国が負担すべきではないか。

答 そのとおりである。しかし、学校給食法第11条第2項で賄材料費は保護者の負担とされている。

子ども手当の寄附は

問 子ども手当に寄附制度が導入されたが。

答 本町では、今まで所得制限があり、受給できなかった方が、今回、申請され寄附をいただいた。

子宮頸がんワクチンの助成を

問 ワクチン接種により発症を抑制できる。手術などの治療行為が減り、接種費用の2倍以上の費用対効果が見込めるが。

答 性行為を経験する前の11歳から14歳の接種が有効である。国の動向を注視している。

小学校新入生に絵本プレゼントを

問 活字文化に親しみ、心の豊かさを育むため、小学校新入生に絵本をプレゼントするセカンドブック事業を始める考えはないか。

答 図書館、学校とも相談し、図書購入費のなかで検討したい。

高校授業料無償化は公平に

問 扶養控除の順次廃止で、逆に負担増になる家庭がある。その対策は。

答 現実には増税になる方がでてくるが、町としての手立てはない。

福祉・介護などの分野で空き家の活用を

問 空き家が増えていますが、その活用策は。



小学校低学年用、課題図書の絵本



山名小学校での給食の様子

住民の生活環境の安心を

問 南山名地内の工場から出る騒音に附近の住民は悩まされている。その指導と対策は。

答 騒音規制法、工場等騒音・振動の規制及び国民の生活環境の保全等に関する条例により、当工場は基準値を超えているため、工場内に遮音壁の設置、窓をプラスチック製に替える、扉を二重扉にすること及び作業手順、器械の内容の見直しを指導したところである。

道路構造令の適用について



新井三郎 議員

答 カラー舗装で交通安全対策



国道41号線、高雄道塚交差点のカラー舗装

問 道路構造令は、道路を新設し、または改築する場合における道路の構造の一般的技術的基準を定めたものだが、適用から外れた道路は見当たらないか。

答 道路構造令は道路の構造の一般的な技術的基準を定めたもので、昭和33年に道路法第30条に基づき政令として交付されたのち、昭和45年に「道路構造令の解説と運用」として初めて発効された後、数回改訂され現在に

至っている。町道においては、町道高雄・橋爪線、犬山・富士線、柏森・大口線など一級、二級町道の中でも都市計画道路がこの基準に基づいて整備されている。現在、この基準に基づき整備中の町道は犬山・富士線がある。道路構造令による最低幅員は4mとしており、開発などによる新設道路は基準を満たしている。

問 自転車道、歩道では、技術的基準が守られているか。

答 自転車道、歩道についての技術的基準が守られているのは町道高雄・橋爪線、犬山・富士線、柏森・大口線などで、その他の歩道は当時の歩行者の通行状況を考慮して整備されている。また、現状で自転車道、歩道を区分したり、歩道幅を広げることは極めて困難であるため、理解いただきたい。

問 道路構造令が地域に即した道路整備を妨げているか。

答 道路構造令が必ずしも道路整備を妨げているとは考えていない。それ



は狭い道路の多い地域性の中、舗装整備、雨水対策も考慮した側溝整備を進めるとともに、歩道の段差、側溝ふたのがたつき解消も随時進めている。また、昨年度から始めたカラー舗装についても交通安全対策の一環として進める。



山名小学校前のカラー舗装

都市公園整備事業の 進行状況は



浅井捷史 議員

答 24年度柏森東山を都市公園に

問 柏森東山を都市公園にするための、今後の予定は。

答 柏森東山は、花立地内に8783㎡の自然が残った森として「扶桑町

自然環境の保全及び緑化推進に関する条例」に基づき、緑化保全地区となっている。

整備事業はこの貴重な緑地を未来に引き継ぐため、町が土地を買収して責任を持って後世に残し、町民に緑とふれあう場を

提供しようと計画している。今年5月、地権者を対象とした事業説明会を開き、都市計画決定を進めることに全員の同意を得た。

今後のスケジュールは、今年6月から7月に土地の調査及び測量をし、年度内に整備計画、都市計画決定の事務を終了する。来年は不動産鑑定を行い価格を提示し用地交渉に入る。土地取得後、平成24年度に、極力現状のま

ま散策路とトイレ、水道施設等の整備を行う。周辺を含めた最終計画案はこれから調査研究していく。

高木調節池周辺対策は

問 治水効果は。今後拡張は。周辺の雑草と安全対策。399号線の冠水愛岐線との交差点問題は。

答 高木調節池については、昨年3月に用地を買収し今年1月に暫定工事を行い、現在2700㎡の貯留量を有している。治水効果は雨期に入り、どれほどの貯留・治水能力があるか調査し、今後の整備の必要性を検討する。拡張は現在考えていない。県営事業の「畑地帯総合整備事業・般若2期地区」にあわせ最終的には浸透量も含め、約9000㎡の調節池を予定している。雑草は現在、年2回草刈りを実施している。安全対策として、危険警告看板、簡易フェンスの設置をする。399号線の冠水については、

調節池の本工事による効果を期待する。愛岐線との交差点は、昨年1月に街路灯を設置したが、今後も安全対策に留意する。

コンビニ収納状況は

問 今までの実績は。

答 個人住民税など4税目全体で4月1659件、5月2432件の利用があった。土・日曜日と祝日で月間400から500件超の利用があることから、納税者へ大きなサービスの提供ができていますと考える。コンビニ収納ができることも納税通知書に明記して周知を図っている。

老人憩の家の現状は

問 指定管理者スペース21の現状は。

答 4月からの指定管理に向け、2月、3月に管理研修を実施した。4月にお披露目を開催し、最近では「ころばん塾」の準備を始めており良好に推移している。



自然が残る柏森東山

暮らす人の元気・町の元気になる 新交通システムへの見解は



矢嶋恵美 議員

答 現在のタクシー助成券でいく

問 私が町内各地域を訪問して町政について伺ったところ、一番多くの要望が交通の不便な地域や一人で購入物や通院の足らない方の生活の足確保であった。今の町民のニーズをしっかりと把握して、住民サービスにこたえるのが必要では。タクシー助成は負担もかかるのでは。

答 現段階では、過去の分析からタクシー助成券がふさわしいと認識している。

問 従来の停留所、時間指定のバス方式に代わって乗客の予約でワゴン車や乗用車を使った生活に必要な足確保で、乗合方式のオンデマンド方式等を含めた事業が近隣市町で進んでいるが今後の具体的な考えは。

答 新交通システムでは、タクシーより利便性に劣るので今のタクシー助成券方式でいく。

問 乳がん、予防できる子宮頸がんの早期発見のための周知と対策は

問 乳がんは女性のがんの中では発生率一位であるが、治癒率も高く早期発見で予防できるがんでもある。その対策は。

答 女性特有のがんの検診は国の施策でもあり、検診率も上がってきており、節目年代の無料クーポンも配布している。

問 子宮頸がんは、ウイルス感染するがんでもあり、若年に急増している。小中学生や高校生など、教師や母親も含め正しいがん予防知識が必要では。

答 小中学生については、正しいがん知識、早期発見、予防など学校と協力し、出前講座などを検討していく。

問 成人式での無料クーポン配布などの啓発は。

答 一つの方法として検討。

問 特定外来生物（オオキンケイギク）の駆除対策は

木曽川堤防中心に生



木曽川堤防道路のオオキンケイギク

扶桑緑地公園の今後のユニバーサル整備は

息するオオキンケイギクは特定外来生物に指定され、栽培なども原則禁止されている。岐阜県側では市民と共にその駆除作業が実施されているが、本町は町民にも知らされていない。今後の対処はどうするか。

答 平成18年に外来生物として指定されたが、町として、これまで町民に情報提供していなかった。現在、木曽川堤防周辺、サイクリングロードなどに生息しているが、今後は駆除をし、民地も含め周知をする。

問 トイレ整備について

答 トイレ整備については維持補修し、緊急用非常ベルの設置は検討する。排水不良は遊歩道の迂回路の検討や、今の補正の中で必要な整備を検討する。夜間照明は考えていない。



高木義道 議員

巡回バス導入の計画は

答 タクシー助成券の利用を

問 医療費無料化の拡大を
愛知県内57市町村の4割を超える市町村が中学校卒業まで、入院・通院とも無料で実施している。大口町・小牧市等其他市町の状況から無料化の

答 巡回バスは過去の実績から利用者が少なく、運賃経費が合わない。地域特性、効率性の面から巡回バスの運営よりタクシー助成券が有効である。

問 車社会の普及で路線バスなどが撤退し、子どもや高齢者など車を利用できない人は移動が制約され、不便な生活を強いられている。超高齢化社会を迎え、地球環境の面でも地域公共交通を道路や上下水道などの社会基盤同様に、行政が町づくりの一環として計画的に整備を進める時期が来ている。巡回バス導入についてどう考えるか。近隣市町や先進自治体の研究とともに町民のみなさんの要望を聞くことを考えているか。



大口町で実施されている巡回バス

問 児童館の建設を
児童館は子どもが身近な地域の中で遊べる場所として、子どもの健全な成長や地域の子育て支援の核となっている。県の方針でも児童館の設

答 中学校卒業までの無料化を実施すると、970人分、1500万円かかる。高齢者、障害者など施策のバランス、財政負担を考慮して現状維持でお願いする。

問 国保税の引下げを
国保税の収納率が88・3%、昭和36年以降最低。原因は高すぎる保険税にある。国に対して国庫負担増を求めると

置数が小学校数に満たない市町村を中心に整備を促進するとあるが、着工の見通しはどうか。

答 現有的公共施設の機能を生かすとともに、共同調理場の跡地利用も視野に入れて総合的に判断をしていく。

問 民主党政権が掲げた後期高齢者医療制度廃止の方針は、平成25年に新制度を発足させるまで廃止を先延ばしにした。速やかに廃止するよう国に求めるべきではないか。

答 さまざまな問題を抱えるこの制度が導入された。国民の信頼と納得が得られるよう厚労省がこの夏までに中間報告をする。廃止に伴う混乱もある。新しい制度は国民の意識調査の集計結果により制度設計をするものである。

「新たな公共領域の形成」に どう取り組むか



児玉孝明 議員

答 想い、期待感をくみ
意識の一致を図りたい

問 自治体は今後もさらに厳しい財政難が見込まれる中、これまで行ってきた行政サービスすべてを維持していくことは極めて困難であり、住民側にその問題解決を丸投げするのではなく、住民が自ら問題を解決することができるようになるための環境整備、支援を行政の責務として、行政サービスのあり方の検討、見直しをすることが行財政改革そのもので、必要かつ重要である。

答 今年度、行政基盤確立のため「新たな公共領域の形成」に取り組まれるがその理由は、行政は安定的、持続的に継続、経営していくもので、その観点から時代の流れの意識を強めたい。

自助、互助、公助の補完性の関係のバランスをどうするのか、公助から互助へ互助から自助と降りていくのではなく、本来的な姿は、自助から互助へ互助から公助が正しい。

い進み方で、行政経営基盤の重みを変化させるために取り組む。

問 想定する町の事業、施策は。

答 現段階では具体的な事業、施策を想定している状況ではない。今後事業、施策を検討する中で、どの部分をどのような形で住民と協働の姿でやっていくのか、意識しながら検討し進んでいきたい。



4月に設立されジュニアスポーツ教室で
講師を勤めるNPO法人ふそうスポーツクラブ

例えば、地区の都市公園や児童遊園の清掃を住民ボランティアで活動されておられ、現在もその姿は生まれてきている。公共交通デマンド方式などを新たな公共空間の発想でとらえると、NPOなどが実施する方向のような意識である。

問 町の果たすべき役割とかかわり方は。

答 NPOや活動団体、ボランティアなどへの情

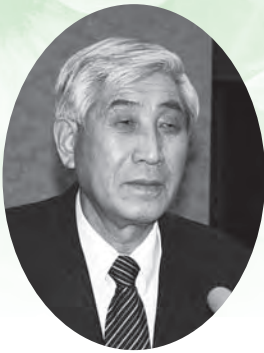
報の提供等により、住民活動団体のサポートや育成に努めたい。意見交換を強め、団体の想い、公共に対する期待感をくみ意識の一致を図りたい。

NPOや活動団体が主体性を持って提案し活動を実施することは理想的ではあるが、そのためには相当の成熟期間が必要であり、現状から理想的な姿へのジャンプは困難で適切でない。

問 具体的制度設計は

答 NPOや活動団体の皆様方の意見を聞き、押しつけられた「新たな公共」ではなく、協働の中から生まれた「新たな公共」を考えている。

現時点で具体的な制度設計はできていないが、時間をかけ、協働の姿を進める中で現実化する。ステップとして活動団体のネット化、中間的なコーディネーター的性格の役割を持つ拠点的なものを模索し進めたい



小林 明 議員

ヒブワクチン接種に助成を

答 助成は今後慎重に検討していく



保健センターで行われたBCGワクチン接種の様子

問 子どもの命を守るために乳幼児の細菌性髄膜炎は、主にヒブウイルスの感染と肺炎球菌によって引き起こされ、死亡率も高く恐ろしい病気と言われている。この病気は、ワクチン接種によって予防できる。町議会も昨年2回にわたって、政府に対し、予防接種法に基づく定期予防接種化を求める意見書を提出している。ワクチン接種は1回7000円から80000円かかると言われる。多くの市町村で助成制度がつく

られ、石川県の川北町では4回を限度に1回につき5000円助成をしている。扶桑町でも子どもの命を守るために助成制度をつくるべきと考えるが。
答 国は平成19年にワクチンを承認し、予防接種法に基づかない任意接種にしている。ワクチン接種は有効で子どもの命に関することなので慎重に検討していきたい。

問 精神障害者医療無料化を「3月町議会で全疾

問 大型焼却施設ありきの計画は問題だ
答 ごみ処理広域化実施計画では、大型焼却施設が前提であり、ごみ減量に逆行するものだ。2市2町の広域化で1か所の

答 地元合意はもつともであるが、難しい問題でもある。小牧市・岩倉市の申し入れ、犬山市議会の要望書は承知して、これを考慮に入れて決めた。

問 2市2町の広域ごみ処理施設建設候補地を地元の合意もなく、小牧市・岩倉市も反対し、犬山市議会も反対しているところになぜ決めたのか。
答 地元合意はもつともであるが、難しい問題でもある。小牧市・岩倉市の申し入れ、犬山市議会の要望書は承知して、これを考慮に入れて決めた。

は
答 広域ごみ処理施設建設候補地は地元合意が前提で

病を対象に23年度から実施の方向で研究」との答弁であったが、どのような研究をしているか。
答 本来は国が行うべき。町として、来年度実施の方向で他の自治体の実態を研究している。

問 サングリーンハウスの温室修繕を
答 雨漏りの修繕をなぜしないのか。
答 応急的な修理をする。

答 日米同盟があり、白紙撤回は求めない。仮に岐阜基地に訓練施設が来れば、余り賛成はしない。

問 普天間基地の日米合意は白紙撤回を求めよ
答 民主党は、公約を破り、普天間基地の移設先で日米合意した。政府に対し、白紙撤回を求める考えはないか。訓練施設が岐阜基地に来たら、反対すべきだが。

答 観点が違えば、中身が違ふ。

問 焼却経費だけでなく、収集経費や収集効率も考えるべきだ。原点に立ち返り、ごみ問題を考え直すべきと思うが。

答 1か所で大型化することは効率的である

平成22年度 水防・防災訓練が実施されました

5月23日(日)に雨の中、木曽川扶桑緑地公園グラウンドを会場として平成22年度水防・防災訓練が実施されました。

この訓練は扶桑水防団田中良一団長の総指揮のもと、木曽川の水位が大雨により異常上昇し、小淵地区で、洪水・はん濫の危険水位に迫り、越水の恐れがあるという想定で行われました。

会場には一宮市、犬山市、江南市、稲沢市、岩倉市、大口町、扶桑町の

水防団員を始め、愛知県一宮建設事務所、丹羽消防署、犬山警察署、日本赤十字社扶桑町地区奉仕団、扶桑町女性消防クラブ、災害ボランティアAD

サポート丹羽、地元の小淵、山那、南山名地区の住民も多数参加し、総勢428名の訓練となりました。

訓練の内容は、水防団員による水防工法(扶桑町は自主防災会と共同で積土のう工)、丹羽消防署による応急手当、赤十字奉仕団、女性消防ク

ラブによる炊出し、避難所生活支援、Dサポート丹羽による被災者支援の訓練などが行われました。

各地区のみなさんは、それぞれの訓練に参加し、非常時に備えて真剣に取り組んでいました。

また、扶桑町議会から大藪三郎議長始め、各議員が参加者の激励をしました。



扶桑水防団と自主防災会による積土のう工



総指揮を執る田中良一団長



丹羽消防署による応急手当

9月定例会の日程(予定日)

9月1日(水)	開会・提案説明
9月7日(火)	一般質問
9月8日(水)	一般質問
9月10日(金)	議案質疑
9月13日(月)	議案質疑
9月14日(火)	議案質疑
9月15日(水)	福祉建設常任委員会(健康福祉関係)
9月16日(木)	福祉建設常任委員会(産業建設関係)
9月17日(金)	総務文教常任委員会
9月28日(火)	委員長報告・討論・採決・閉会

今回より「議会だより」はユニバーサルデザインフォントを採用しています。

ユニバーサルデザインフォントとは誰もが「わかりやすく」「読みやすく」「読み間違えることがない」ようにデザインされた文字のことです。

例

従来の書体

新しい書体

S36→S36

「会議録検索システム」インターネット配信

扶桑町ホームページで議会会議録をインターネット配信していますので、ご利用ください。

扶桑町役場
ホームページ



町議会



会議録検索



お知らせ